

# すわみつえ通信

No.77 2019年 6月17日(月)

日本共産党鴻巣市会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで [suwa-mitsue.jp/](http://suwa-mitsue.jp/)

ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

## 福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

### 鴻巣市議会6月定例会

#### 文教福祉常任委員会で 付託された5議案を審査

文教福祉常任委員会に付託された放課後児童クラブ条例改定、介護保険条例改定、2019年度一般会計補正予算などの議案に対して、6月10日(月)に市民の目線で質疑を行い審査しました。放課後児童クラブ条例改定案と一般会計補正予算の3議案に賛成をし、消費税増税を前提とした介護保険条例改定と介護保険特別会計補正予算の2議案に反対をしました。

#### ●鴻巣南小学校に民設民営の放課後児童クラブ開設

放課後児童クラブ条例改定は、2018年7月に開設を予定していた民設民営の鴻巣南小学校の放課後児童クラブが、「南よつばの願い学童」という名称で2019年5月1日より開室したことに伴うものです。

法務局跡地で公設公営で運営してきた南放課後児童クラブから民設民営に変わること、それまでの支援員さんの処遇がどのようになるのか、また、運営を行うNPO法人グリーンパパプロジエクトの活動内容などを質疑しました。老朽化が激しい施設から新築の施設への移転、鴻巣公園に隣接している

ことなど環境面、また、支援員さんについては、現在より下回らない処遇で移籍し、子どもたちとの関わりが継続できることなどが確認できました。

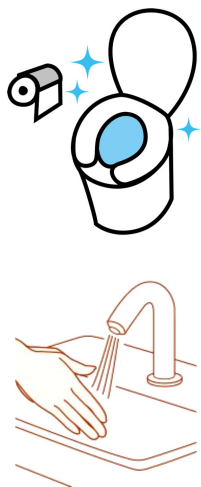
#### ●介護保険条例の改定議案は消費税増税が前提

現在行われている低所得者の方の介護保険料軽減措置は、本年10月1日から消費税の増税が行われることを前提に、第1段階から第3段階の階層の方々に行うものです。65歳以上の1号被保険者34,347人中、8,268人の方が対象となります。低所得者の介護保険料軽減を消費税増税と引き換えに行うとしており、重い負担となる消費税増税を押し付けながら「軽減」というのは市民を欺くものだとして反対論を行いました。

#### ◆一般会計補正予算にて

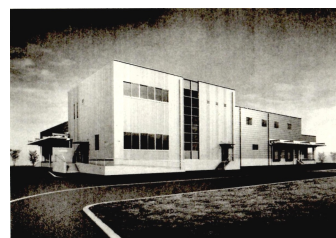
##### 赤見台第一小学校のトイレ改修

普通教室棟のトイレ改修(便器の洋式化、手洗いの自動化、LED電球化、配管の更新、新たに多目的トイレ設置など)費用を予算化するもの。



### 中学校給食センター整備

旧総合体育館跡地に中学校給食センターを建替ええます。食物アレルギー対応調理室の新設、調理場の適切な温度・湿度管理を備えた空調設備を新たな特色とした予算です。



完成予想図  
議案資料より

### カルガモ親子にバツリ

6月10日(月)、吹上駅の駅頭宣伝から帰るときに吹上アピタ店跡地付近でカルガモの親子に遭遇。車の往来が激しいところですが、歩道を移動していました。ちゃんと川や田んぼにたどり着くといのですが。



カメラに向かってポーズしてくれました

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

# 減らない年金 今すぐ

## 安倍政権下7年で年金実質6.1%大幅減

### 老後2千万円問題

“年金暮らし夫婦は2千万円の貯金が必要”。金融庁の金融審議会報告書（6月3日）をめぐり怒りが広がっています。自民党は報告書撤回を求め、“貧しい年金制度”を隠すのに必死です。

### 小池書記局長が追求

10日の参院決算委員会では日本共産党の小池晃書記局長は「100年安心の年金」といつていたのに「年金をあてにするな」というのは国家的詐欺に等しい」と厳しく批判。自公政権が作った年金削減の仕組み（マクロ経済スライド）が続けば、41歳以下の世代の不足額は3600万円に拡大すると告発しました。

**年金削り、格差広げる  
マクロ経済スライド廃止を**

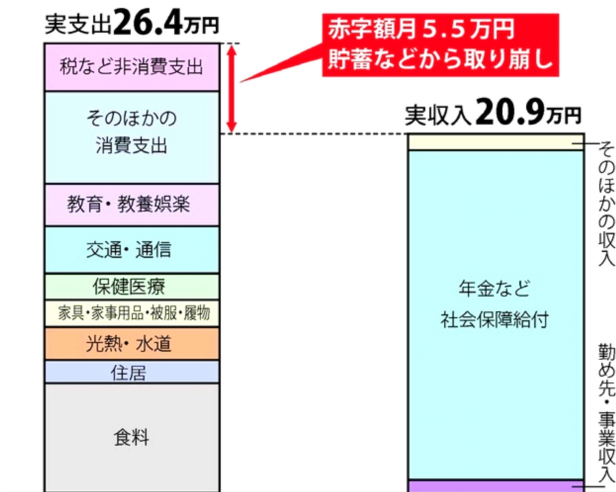
小池氏が取り上げたのは、金融庁の金融審議会の報告書です。高齢夫婦の平均収入と支出の差が月5.5万円の赤字となり、公的年金だけでは老後30年間で2千万円不足すると記しています。



小池晃書記局長の参院決算委員会での質問がネットで大きな反響を呼んでいます。（6日16日12時 視聴回数 160万を突破）

### 高齢夫婦世帯の収入と支出

夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの無職世帯の1カ月分



出典:厚生労働省資料から小池晃事務所作成

これまで政府は「厚生年金は必要な生活費をまかなうもの」「安倍晋三首相」だと説明してきました。ところが報告書は「厚生年金でもまかなえない」と正直に認めたのです。

不足する月平均5.5万円の内訳は「娯楽費や交際費」(小池氏)。総務省の調査では高齢夫婦の娯楽費は月2.5万円、交際費は月2.1万円(その他の消費支出に含まれる)です。小池氏は怒りを込めて追及しました。「1日わずか800円の娯楽がぜいたくか。日本の公的年金はこんなささやかな暮らしも支えられないのか。趣味も控え、友達との付き合いもやめ、家でじっとしていなさい、と言っのか」

“老後の30年間で2千万円不足する”のは、現在の年金受給者の話です。現役世代が年金受給者になったとき、事態はさらに悪化します。その仕組みが「マクロ経済スライド」。物価などの伸び率よりも年金額の改定率を低く抑え、実質的に年金額を削減します。安倍政権の7年間をみると、物価は5.3%上昇したのに、年金は0.8%のマイナス改定で、年金は実質6.1%の大幅減です。小池氏は政府の計算方法を用いて驚がくの数字を明らかにしました。現在41歳以下の人たちが年金受給者になったとき、「マクロ

【朝日新聞 6月13日付「社説」から】  
**麻生氏 報告書「拒否」**

**議論避ける小心と傲慢**

1週間前に自慢げに紹介した有識者の報告書を、選挙の逆風になるとみるや一転してこき下ろし、受け取りを拒む。相次ぐ批判も報告書ごと「なかつたこと」にして、議論から逃げる。あけすけな小心さと幼稚な傲慢さが同居する政府与党の姿には、あきれられない。

麻生金融相は当初、100歳まで生きる時代には人生設計を考え直す必要がある、といった説明をしていたが、11日には報告書を受け取らないと表明した。自民党の二階俊博幹事長が報告書を批判し、「我々選挙を控えておるわけですから、そうした方々に迷惑を許すようなことのないように注意したい」と発言した直後だった。

「年金不足」が夏の参院選の争点になることを恐れたのだろう。語るに落ちることは、このことである。

5年に1度、年金の給付水準の長期的な見通しを示すための年金財政検証は、前回は6月上旬に公表されたが、今回は遅れている。選挙後に議論を先送りしようとしているのなら、許されることではない。